

佐 賀 大 学 美 術 館
事 業 報 告 及 び
自 己 点 検 ・ 評 価 報 告 書
令 和 6 年 度
【 暫 定 版 】

令 和 7 年 8 月

佐 賀 大 学
美 術 館

目 次

I 佐賀大学美術館の現況及び特徴

概 要	・・・・・・・・・・・・・・・・
沿 革	・・・・・・・・・・・・・・・・
組 織 図	・・・・・・・・・・・・・・・・

○ 令和6年度の活動

- 1) 展示記録(主催)
- 2) 展示記録(企画申請)
- 3) 職業体験
- 4) 刊行物
- 5) 掲載・見学
- 6) 職員の館外会議・研修
- 7) 寄附
- 8) 入館者数一覧

II 自己点検・評価

- 1 令和6年度の主な活動に関する自己点検・評価
- 2 今後の課題等

I 佐賀大学美術館の現況及び特徴

概 要

平成 25 年 10 月、旧佐賀大学と佐賀医科大学の統合 10 周年記念事業の一つとして開館。美術館と併せて整備された正門エリアは「地域に開かれた大学」という佐賀大学の理念を象徴し、門扉のない低い正門、そして、水平線が強調され、ガラス張りのファサード（正面）をもつ美術館から成る。そして、佐賀大学美術館は、より多くの人に総合大学である佐賀大学の魅力を知っていただくための情報発信の場として建設された。

平成 15 年の国立大学法人法の制定以来、国立大学はそれまで以上にそれぞれの特徴を打ち出し、存在意義を明確にしなければならなくなった。佐賀大学の特色や強みは何かと言われたとき、60 年以上の歴史を誇り、多くの優れた美術・工芸分野の教員、作家、デザイナーなどを輩出してきた美術・工芸教室の実績は地域に確たる歴史を刻んでいる。このような歴史と実績を背景とし、新生佐賀大学の 10 周年を記念する事業の一つとして、佐賀大学美術館建設はスタートした。総合大学であるにもかかわらず、博物館や資料館ではなく、美術館が建てられた理由もそこにある。

一方、佐賀大学は「COC（センター・オブ・コミュニティ）」を大学の理念として掲げている。すなわち、佐賀大学の大学としての大きな存在意義とは、地域貢献にある。佐賀大学は、佐賀大学美術館を通して地域の文化芸術の促進に貢献するとともに、佐賀大学美術館が地域の人々のコミュニケーションの場となる使命を有するのは、そのような理由があるからである。

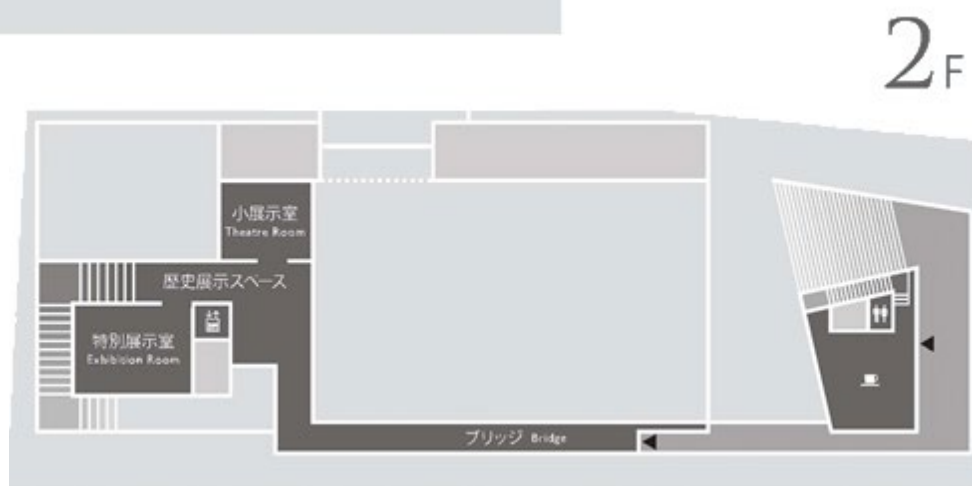
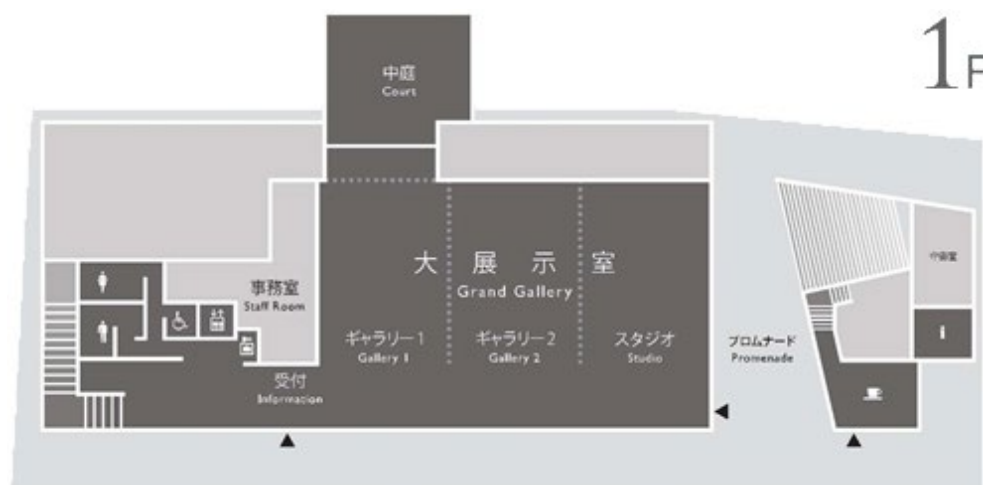
佐賀大学美術館は、佐賀大学が所有する資料の公開や、特別教科（美術・工芸）教員養成課程以来の美術作品を収集・保管・展示するとともに、美術の新しい活動や表現を地域の人々とともに作り上げていく。また、佐賀大学美術館は、総合大学が生み出すさまざまな研究成果を周知・公開していく。

博物館法に定められた美術館の機能である 1) 調査・研究 2) 資料の収集・保存・公開 3) 教育普及の柱を堅持しつつ、なおかつ佐賀大学美術館は、これらの機能に加えて大学の研究教育機関としての役割、すなわち、全学的な教育研究成果の発表、美術教育研究成果のアーカイブ化などを果たしていく。このような「社会教育の場」であるとともに、「大学の教育研究機関」でもあるという位置付けこそが佐賀大学美術館の特徴であり、学生の教育のために積極的にその場を提供し、また、美術館自体も博物館活動を通じて学生への教育を担う。

○ 令和6年度の活動

【館概要】

名称	佐賀大学美術館
所在地	佐賀市本庄町1番地
基本設計	佐賀大学
実施設計	(株)梓設計九州支社〔協力:(株)ワークヴィジョンズ〕
監理	佐賀大学環境施設部
施工	建築:金子建設(株) 電気:(株)佐電工 機械:(株)九電工
構造	鉄骨造・地上2階建
延床面積	1,502 m ²
展示面積	462 m ² ギャラリー1 106 m ² ギャラリー2 106 m ² スタジオ 111 m ² 特別展示室 48 m ² 小展示室 34 m ² 歴史展示スペース 57 m ²
その他	プロムナード 中庭 ブリッジ
設備	トイレ 多目的トイレ ロッカー
併設	カフェ (2018年11月まで)



【沿革】

2011 年 1 月 4 日	学長年頭挨拶で美術館設置計画を発表
6 月 8 日	佐賀大学役員会にて美術館設置諮問委員会からの答申書を報告。 美術館の設置を審議・了承。同時に 3WG(設置募金、利用、建設)についても報告
12 月 20 日	美術館基本設計建設コンサルタント選定委員会で基本設計コンサルタント選定
2012 年 2 月 22 日	佐賀大学役員会にて基本設計のイメージを説明、募金趣意書の作成を提案・了承
5 月 14 日	基本設計納入
12 月 29 日	美術館実施設計終了
2013 年 2 月 14 日	新営工事起工式
6 月 26 日	美術館規則、美術館運営委員会規定制定
8 月 30 日	美術館建設工事竣工
9 月 28 日	佐賀大学統合 10 周年記念式典・佐賀大学美術館開館記念式典
10 月 2 日	一般公開開始
2014 年 10 月 24 日	入館者 5 万人達成
2015 年 1 月 22 日	第 18 回佐賀市景観賞受賞
2016 年 2 月 19 日	入館者 10 万人達成
2018 年 12 月 8 日	入館者 20 万人達成
2020 年 12 月 2 日	入館者 25 万人達成
2023 年 9 月 8 日	佐賀大学美術館開館 10 周年記念式典
2023 年 11 月 24 日	入館者数 30 万人達成

〔設立主旨〕

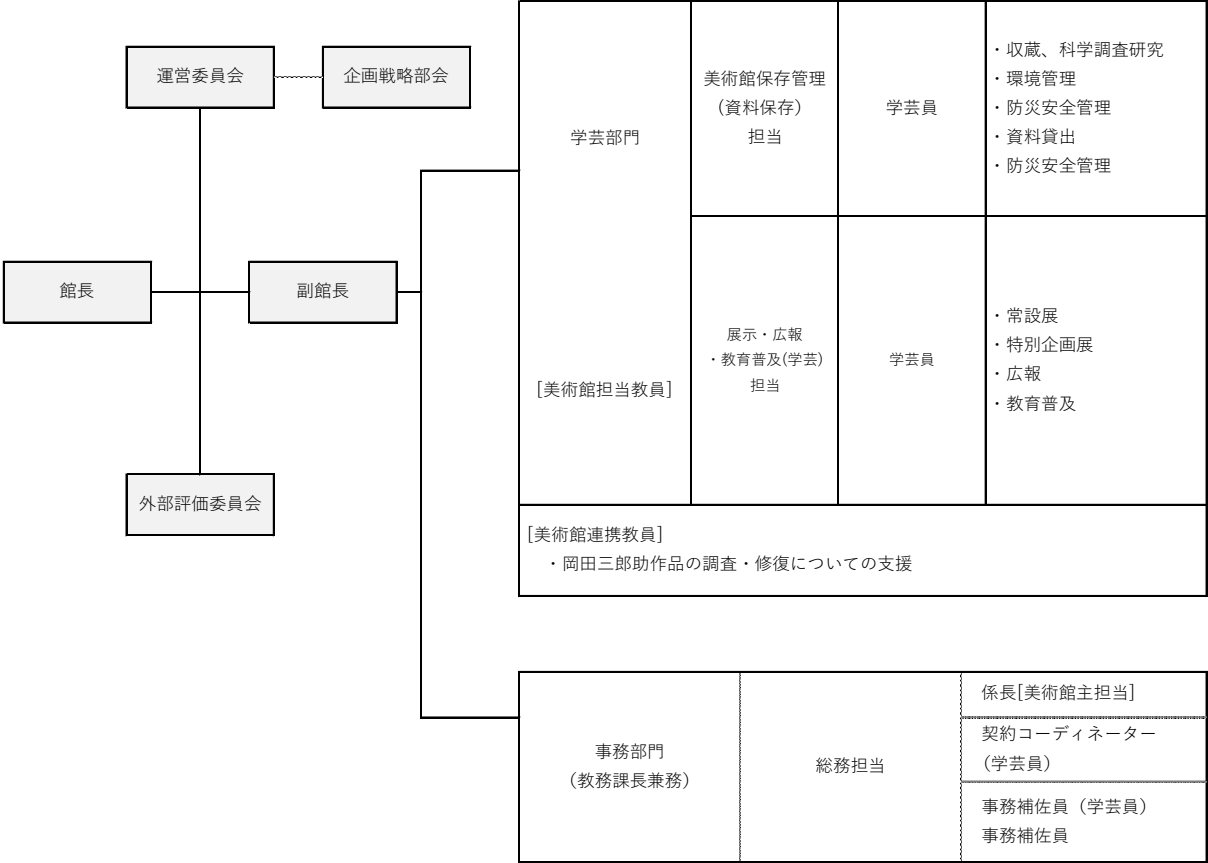
2013年10月、旧佐賀大学と佐賀医科大学の統合10周年記念事業として佐賀大学美術館は誕生しました。美術館と、併せて整備された正門エリアは、「地域に開かれた大学」という佐賀大学の理念を象徴するものです。美術館は、総合大学である佐賀大学の魅力を多方面に向けて、より多くの人に知っていただくための情報発信源として活用されています。

〔活動目的〕

佐賀大学が所有する資料や、美術・工芸に関連する作品を収集・保管・展示するとともに、文化芸術の新しい活動や表現を地域の方々とともに作り上げ、総合大学が生み出すさまざまな研究成果を周知・公開していきます。

[組織図]

2024年4月 1 日現在



[職員]

館長	渡 孝 則
副館長	徳 安 和 博
係長	黒 木 幸 代
契約コーディネーター	五 十 嵐 純
事務補佐員(学芸員)	見 藤 素 子
事務補佐員	吉 丸 マチ子
事務補佐員	樺 山 朋 子

美術館担当教員	藤 井 康 隆
美術館連携教員	石 井 美 恵
美術館連携教員	花 田 伸 一

[企画戦略部会委員]

リーダー	理事	渡 孝 則
委員	教授	徳 安 和 博
委員	准教授	花 田 伸 一
委員	准教授	藤 井 康 隆
委員	学務部長	荒 木 昌 美
委員	係長	黒 木 幸 代
委員	学芸員	五 十 嵐 純
委員	学芸員	見 藤 素 子

[運営委員]

委員長(館長)	理事	渡	孝	則
副委員長(副館長)	教授	徳	安	和 博
副委員長	学務部長	荒	木	昌 美
委員	理事	山	下	宗 利
委員	教授	栗	山	裕 至
委員	准教授	井	川	健
委員	講師	浅	川	慎 介
委員	教授	山	田	小 織
委員	教授	橘		基
委員	教授	近	藤	文 義
委員	佐賀大学同窓会長	山	田	直 行
委員	財務部長	前	田	隆 司

2025 年 3 月 1 日現在



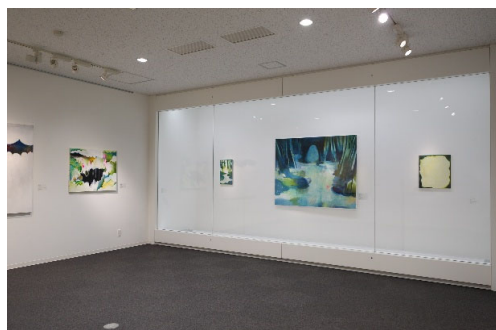
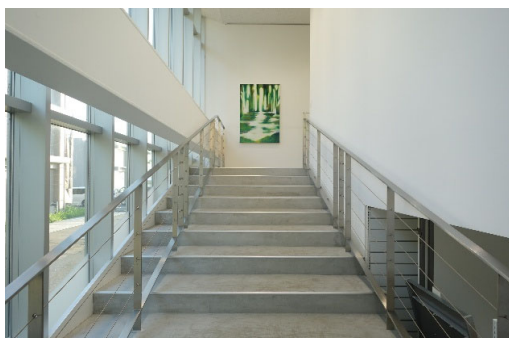
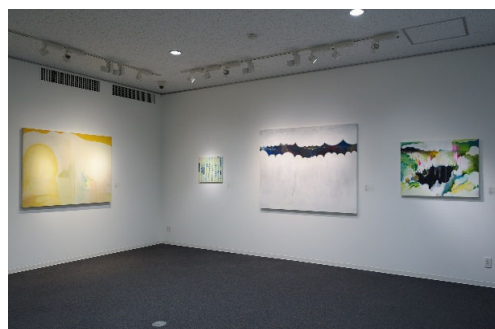
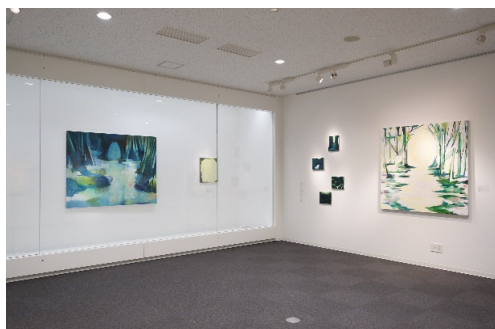
1 展示記録(主催展) 令和6年度

佐賀大学美術館

展覧会名	SUAM/ROOT Vol1 瀬戸口朗子－幕間－
展覧会概要	地域の芸術文化交流地点として、様々な人が地域ゆかりの文化・芸術に触れることを目的に、九州を拠点に活動をする若手・中堅アーティストを個展形式で紹介する企画展「SUAM/ROOT」。第1回目は、2002年に佐賀大学文化教育学部美術工芸課程西洋画専攻を卒業し、佐賀や福岡を拠点に活動続ける瀬戸口朗子を紹介した。
会期	2024年6月18日（火）～9月8日（日）
開館日数	69日間
会場	特別展示室
展示構成	14点
入館者数	12,183人
印刷物	ポストカード（B6変形、3,000部）、目録、記録集（B5、8頁、800部）
関連事業	風鈴絵付けワークショップ&美術館のガラスに絵を描こう！
内容	講師：瀬戸口 朗子 日時：2024年7月21日（日）10:00～ 会場：スタジオ 内容：展覧会を鑑賞したのち、透明な風鈴に絵付けを行った。また、スタジオガラス面を利用し、水で溶けるクレヨンを用いて自由に絵を描くコーナーを設置した。 参加者数：14組
関連事業	学芸員による作品解説
内容	講師：五十嵐 純（当館学芸員） 日時：6月30日（日）13:00～ 7月13日（土）13:00～ 会場：特別展示室 内容：展覧会の解説を行った。 参加者数：7名



展示写真



1 展示記録(主催展) 令和6年度

佐賀大学美術館

展覧会名	SUAM/ROOT Vol2 黒木由美 - ぽ -
展覧会概要	地域の芸術文化交流地点として、様々な人が地域ゆかりの文化・芸術に触れることを目的に、九州を拠点に活動をする若手・中堅アーティストを個展形式で紹介する企画展「SUAM/ROOT」。第2回目は、2019年に佐賀大学大学院地域デザイン研究科修士課程を修了し、現在は宮城県を拠点に活動続ける黒木由美を紹介した。
会期	2024年11月26日（火）～2025年3月9日（日）
開館日数	78日間
会場	特別展示室
助成	公益財団法人金子財団
展示構成	13点
入館者数	9,499人
印刷物	ポストカード（B6変形、3,000部）、目録、記録集（B5、8頁、800部）
関連事業	アーティストトーク
内容	講師：黒木 由美 日時：2024年11月30日（土）13:00～ 会場：特別展示室 内容：アーティストによる作品解説を行った。 参加者数：2名
関連事業	担当学芸員による作品解説
内容	講師：五十嵐 純（当館学芸員） 日時：2024年12月7日（土）13:00～ 2025年1月12日（日）13:00～ 内容：展覧会の解説を行った。 参加者数：9名



展示写真



1 展示記録(主催展) 令和6年度

佐賀大学美術館

展覧会名	あらわすいとなみ Vol.1 kioku手芸館「たんす」
展覧会概要	社会における芸術の役割について、より実生活に近い視点から考えることを目的とした展覧会シリーズ「あらわすいとなみ」を開催。第1回目は、大阪市西成区山王にある元タンス店を活用し、地域のコミュニティ形成を行いながら創造活動を行う「kioku手芸館たんす」を紹介した。 
会期	2024年11月29日(金)～2025年2月2日(日)
開館日数	43日間
会場	小展示室、歴史展示スペース
協力	東京藝術大学西尾美也研究室、佐賀大学大学院地域デザイン研究科 キュレーション演習クラス、佐賀大学芸術地域デザイン学部 情報デザイン研究室、佐賀大学農学部地域社会開発学研究室
展示構成	43点
入館者数	6,036人
印刷物	チラシ (A4、4,000部)、目録、記録集 (B5、8頁、800部)
関連事業	トーク：あらわすいとなみとたんすについて
内容	講師：西尾美也（アーティスト、東京芸術大学准教授）、松尾真由子・高岩みのり（一般社団法人brk collective）、花田伸一（佐賀大学） 日時：2024年12月14日（土）14:00～15:30 会場：佐賀大学美術館 旧カフェ2階 内容：たんすの活動やNishinari Yoshioの活動についての紹介を行った。 参加者数：17名
関連事業	出張「たんす」:ものづくり工房

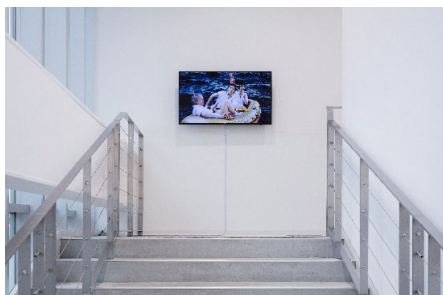
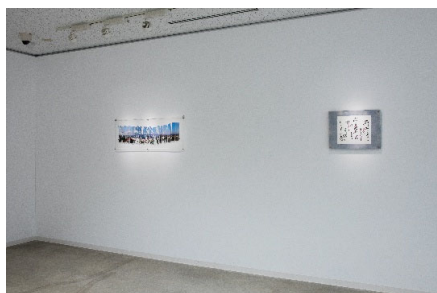
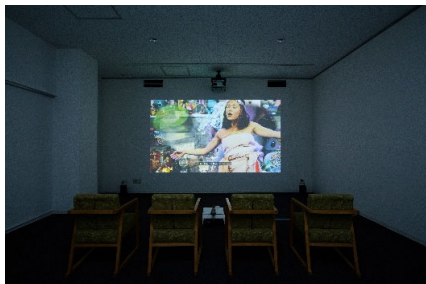
内容	講師：松本香壽子、須藤よし子（kioku手芸館 たんす のコアメンバー） 日時：12月14日（土）16:00～17:00 12月15日（日）13:00～17:00 会場：歴史展示スペース 内容：不要になった生地や糸をつかって、普段「たんす」で行われている作業を体験できるイベントを開催した。
関連事業	担当学芸員による展覧会解説
内容	日時：2024年12月7日（土）13:00～ 2025年1月12日（日）13:00～ 会場：小展示室、歴史展示スペース 内容：展覧会の解説を行った。 参加者数：9名
展示写真	
	

1 展示記録(主催展) 令和6年度

佐賀大学美術館

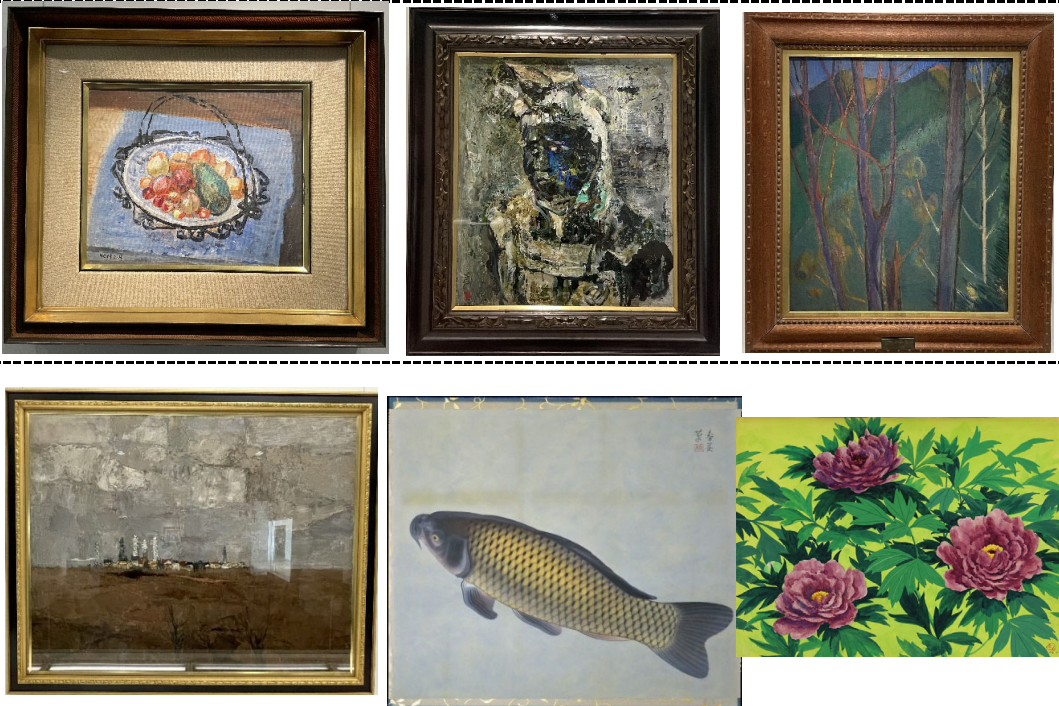
展覧会名	SUAM Screening+ Rumiko Hagiwara Far Away Hopeful Grand Land／萩原留美子 はるかなる大地へ
展覧会概要	長編映像作品を中心に紹介する企画展として、「SUAM Screening+」を開始。第1回目は、アムステルダム（オランダ）を拠点に国際的に活躍するRumiko Hagiwara（萩原留美子）の九州初個展として開催した。 
会期	2025年2月28日(金)～2025年5月11日(日)
開館日数	21日間(2025.03.31までの開館日数)
会場	小展示室、歴史展示スペース
協力	CAVE-AYUMI GALLERY
展示構成	12点
入館者数	2,941人(2025.03.31までの入館者数)
印刷物	チラシ（A4、4,000部）
関連事業	トーク・イベント はるかむこう
内容	講師：小坂智子（長崎県美術館 館長）、萩原留美子 日時：2025年3月1日（土）13:00～14:00 会場：佐賀大学美術館 旧カフェ2階 内容：小坂智子氏をゲストにお呼びし、萩原氏との対談を開催した。 参加者数：20名
関連事業	担当学芸員による展覧会解説
内容	日時：2025年3月7日（金）14:00～、4月5日（土）14:00～ 会場：小展示室、歴史展示スペース 内容：展覧会の解説を行った。
関連事業	

展示写真



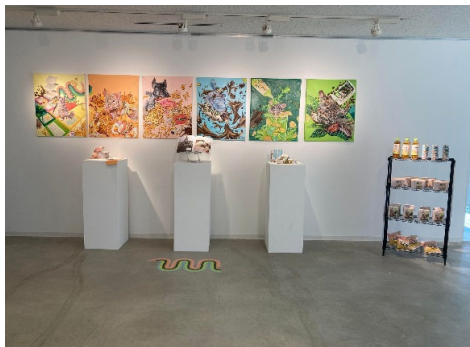
1 展示記録(主催展) 令和6年度

佐賀大学美術館

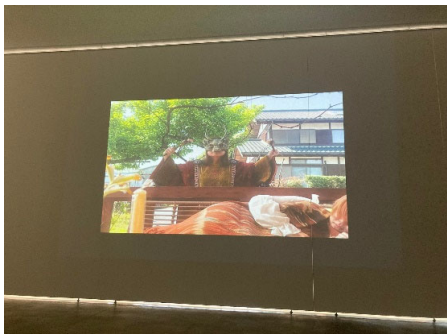
展覧会名	佐賀大学美術館収蔵品展Collection Exhibition第1期	
展覧会概要	佐賀大学美術館が開館以後収蔵してきた約110点の収蔵品の中から、これまで展示の機会が多くなかった作品を中心に展示。	
会期	2025年3月18日（火）～2025年9月12日（金）	
開館日数	12日間(2025.03.31までの開館日数)	
会場	特別展示室	
展示構成	7点	
入館者数	1,799人(2025.03.31までの入館者数)	
印刷物	外看板、目録	
展示写真		

出品リスト

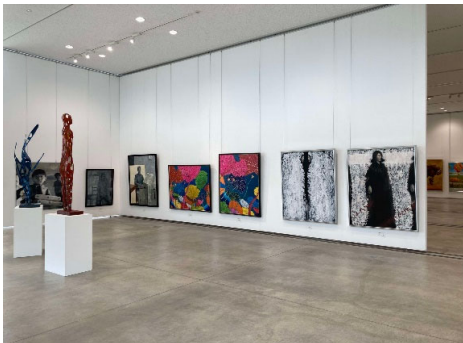
No.	作品名	作家名	素材	制作年	所蔵
1	牡丹	田中 宗一	水彩、紙	1969年	佐賀大学美術館
2	夏の果物	村岡 平蔵	油彩、キャンヴァス	不明	佐賀大学美術館
3	祭の日	久富 邦夫	油彩、キャンヴァス	1974年	佐賀大学美術館
4	五部浄像	檜崎 重視	油彩、キャンヴァス	1983年	佐賀大学美術館
5	黒土	内山 孝	油彩、キャンヴァス	1961年	佐賀大学美術館
6	新緑	村岡 平蔵	油彩、キャンヴァス	1963年	佐賀大学美術館
7	鯉	立石 春美	絹本着色	不明	佐賀大学美術館

展覧会名	SAGA U × SRU～A curation of Slippery Rock University's artists (2 faculty members and a student) 佐賀大学とスリッパリーロック大学の学生チームによる2件の展示の同時開催～	
展覧会概要	『Gentle Reveries』 ニューヨークのメトロポリタン美術館にも作品が展示されている小谷明子名誉教授による作品23点、テレサ・アントネリス教授による8点のドローイングが展示された。呼吸、ダンス、自然の要素に関連した穏やかな動きの繰り返しに基づいた、抽象作群が紹介された。 『Chi-Mart』 今学期SRU(Slippery Rock University)からのSpace-Arita交換留学生サマンサ・デナライン氏による絵画、商品のパッケージデザイン、また、サマンサ氏が執筆し、本学の「異文化間コミュニケーションIII」(担当:SRU石丸裕佳子教授)の履修生30名が日本語に翻訳した雑誌などが展示された。	
《会期》	2024年5月10日(金)～5月17日(金)	
《日数》	7日間	
《会場》	小展示室、歴史展示スペース	
《主催》	Slippery Rock University of Pennsylvania (スリッパリーロック大学) 佐賀大学インターカルチュラルコミュニケーション学生ボランティアグループ (佐賀大学 SRU企画展学生ボランティア)	
展示写真		

展覧会名	シルエットの光と影～切り絵アート展示～	
展覧会概要	切り絵アート倶楽部に所属する生徒総勢33名と、洋二郎氏による切り絵アートが展示された。	
《会期》	2024年6月1日（土）～6月9日（日）	
《日数》	8日間	
《会場》	ギャラリー 1	
《主催》	切り絵アート倶楽部	
展示写真		

展覧会名	ツカミ博覧会	
展覧会概要	映画、ドラマ、小説、音楽、漫才などあらゆる作品の序盤（つかみ）だけを制作した作品が展示された。	
《会期》	2024年6月25日（火）～6月30日（日）	
《日数》	6 日間	
《会場》	ギャラリー 1、ギャラリー 2、スタジオ	
《主催》	佐賀大学芸術対吉岐デザイン学部映像デザインゼミ	
展示写真		

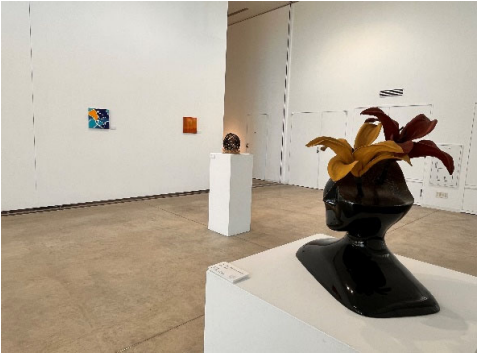
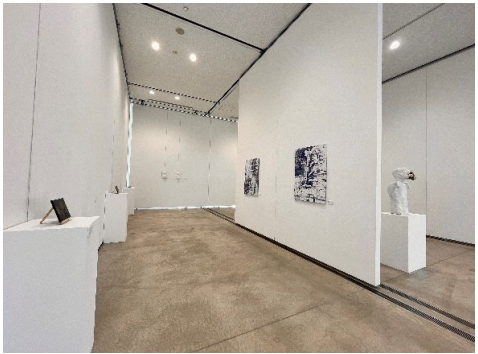
展覧会名	令和6年度 共通基礎成果発表展	
展覧会概要	佐賀大学芸術地域デザイン学部の1年生が「芸術表現基礎」「地域デザイン基礎」の授業で取り組んだ作品や活動成果が展示された。	
《会期》	2024年7月30日（火）～8月8日（木）	
《日数》	9日間	
《会場》	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、中庭、プロムナード、小展示室、歴史展示スペース	
《主催》	佐賀大学芸術地域デザイン学部	
展示写真	 ださ	

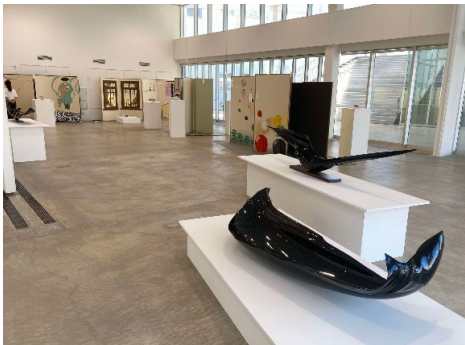
展覧会名	第47回二紀佐賀支部展
展覧会概要	毎年国立新美術館（東京都）で開催される「二紀展」の佐賀支部による支部展が開催された。絵画・彫刻作品計46点が展示された。会期中には講演会も行われた。
《会期》	2024年8月18日（日）～8月24日（土）
《日数》	6日間
《会場》	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
《主催》	一般社団法人二紀会佐賀支部
《関連事業》	第47回二紀佐賀支部展 講演会
《内容》	日時：2024年8月18日（日）10:00～11:30 会場：佐賀大学美術館 演題：「自作を語る」 講師：木原 正徳 氏（二紀会理事、東北芸術工科大学教授・副学長）
展示写真	 

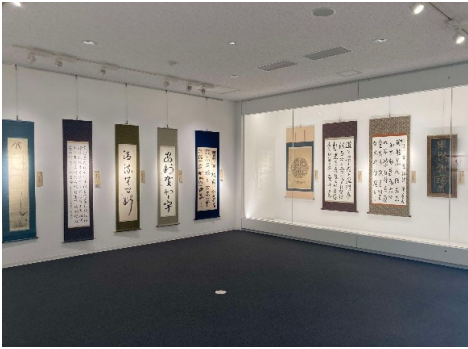
展覧会名	第52回「大空」七夕書道展	
展覧会概要	2024年で52回目を迎えた、佐賀県下児童生徒の書写作品を公開する展覧会が開催された。合計1245点の書道作品が展示された。	
《会期》	2024年 8月27日（火）～8月31日（土）（台風のため8月29日～8月30日休館）	
《日数》	3日間	
《会場》	ギャラリー 1	
《主催》	一般社団法人佐賀県書道教育連盟	
《後援》	佐賀県、佐賀県教育委員会、佐賀県芸術文化協会、小城市教育委員会、中林梧竹翁顕彰会、全国農業協同組合連合会	
展示写真		

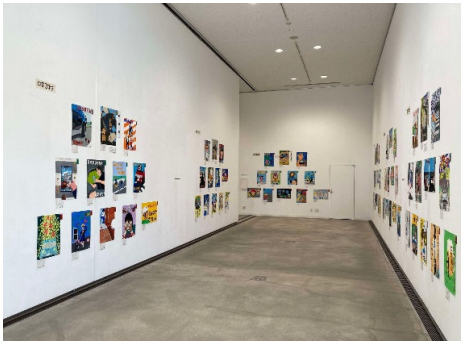
展覧会名	第78回日本体力医学会学術大会における学会発表（ポスター展示）	
展覧会概要	第78回 日本体力医学会学術大会における、学会発表において発表されるポスターが展示された。発表者と参加者のコミュニケーションやディスカッションを促した。	
《会期》	2024年9月2日（月）～9月4日（水）	
《日数》	3日間	
《会場》	ギャラリー 1、ギャラリー 2、スタジオ	
《主催》	第78回 日本体力医学会事務局、日本体力医学会、佐賀県	
《共催》	佐賀大学	
展示写真		

展覧会名	令和6年度空気調和・衛生工学会大会 技術展示会	
展覧会概要	大学、研究機関、企業による空気調和設備や給排水衛生設備に関する最新技術の展示。	
《会期》	2024年9月11日（水）～9月13日（金）	
《日数》	3日間	
《会場》	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ	
《主催》	公益法人 空気調和・衛生工学会	
展示写真		

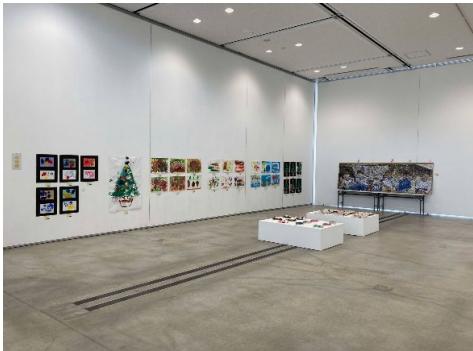
展覧会名	羽化	
展覧会概要	佐賀大学芸術地域デザイン学部生4年生による成果発表展が行われ、染色、彫刻、漆を専攻する学生の作品計27点が展示された。	
《会期》	2024年9月18日（水）～9月22日（日）	
《日数》	5日間	
《会場》	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ	
《主催》	グループ展「羽化」	
展示写真		

展覧会名	ONE有明アートフェスティバル「ACTIVATE ART+KOGEI HAGAKURE（葉隠）自由と情熱」	
展覧会概要	アート＋工芸＋スポーツ＋食・酒・茶＋ツーリズムの複合化による振興・観光インバウンドの盛り上げを目指す、回遊型のアートプロジェクト「ONE有明アートフェスティバル」のプロジェクトの一環として現代美術の作品が展示された。展覧会開催の前日には内覧会が行われた。	
《会期》	2024年9月28日（土）～11月3日（日）	
《日数》	32日間	
《会場》	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、中庭、特別展示室、小展示室、歴史展示スペース	
《主催》	ONE有明アートフェスティバル実行委員会	
展示写真		

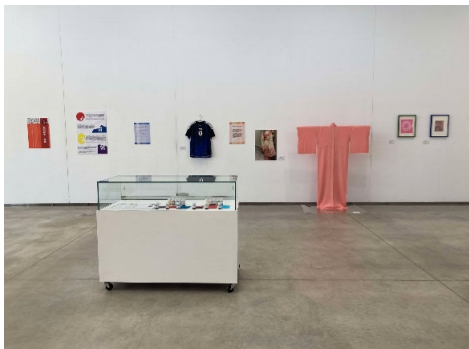
展覧会名	第十五回璞友会展	
展覧会概要	2024年で15回目を迎えた「璞友会」の書道作品展。講師および会員による書作などの成果が発表され、合計24点展示された。	
《会期》	2024年11月12日（火）～11月17日（日）	
《日数》	6 日間	
《会場》	特別展示室、小展示室、歴史展示スペース	
《主催》	璞友会	
《後援》	文字文化研究会	
展示写真		

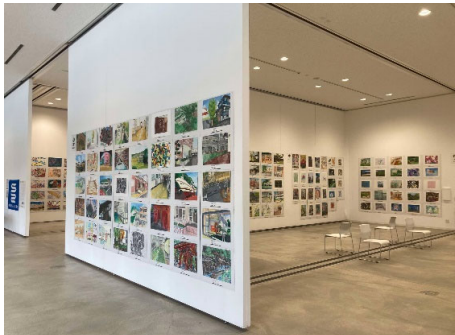
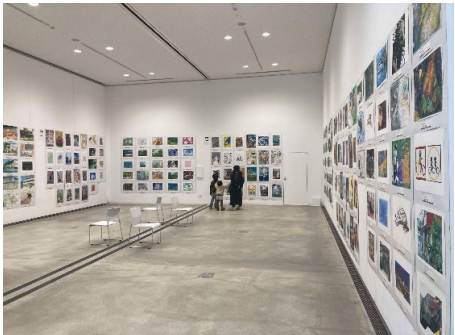
展覧会名	令和6年度JA共済小・中学生第60回書道・第50回交通安全ポスターコンクール 入賞作品展示会	
展覧会概要	JA共済が文化支援事業として毎年実施している全国規模のコンクールの入賞作品展。応募された小・中学生の書作および交通安全ポスターの中から、県内で入賞を果たした作品324点が展示された。	
《会期》	2024年11月14日（木）～11月21日（木）	
《日数》	7日間	
《会場》	ギャラリー1、ギャラリー2	
《主催》	佐賀県内各農業協同組合、全国共済農業協同組合会佐賀本部	
《後援》	佐賀県、佐賀県教育委員会、佐賀県警察本部、佐賀県農業協同組合中央会、NHK佐賀放送局、サガテレビ、NBCラジオ、エフエム佐賀、佐賀新聞社、株式会社日本農業新聞	
展示写真		

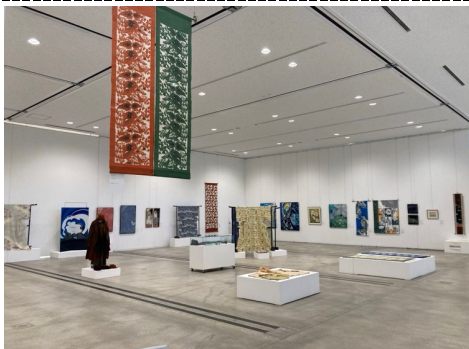
展覧会名	近藤恵介 絵画の練習
展覧会概要	科研費研究「鍋木清方「卓上芸術」を端緒とする、今日の絵画表現の可能性としての「卓上の絵画」」における成果が展覧会形式で発表された。会期中には作家本人によるギャラリートークが開催された。
《会期》	2024年11月29日（金）～12月15日（日）
《日数》	15日間
《会場》	ギャラリー 1、ギャラリー 2、スタジオ
《主催》	芸術地域デザイン学部准教授 近藤恵介
《関連事業》	近藤恵介 ギャラリー・トーク
《内容》	日時：2024年12月7日（土）14:00～14:30 会場：佐賀大学美術館 演題：「近藤恵介・ギャラリートーク」 講師：近藤恵介

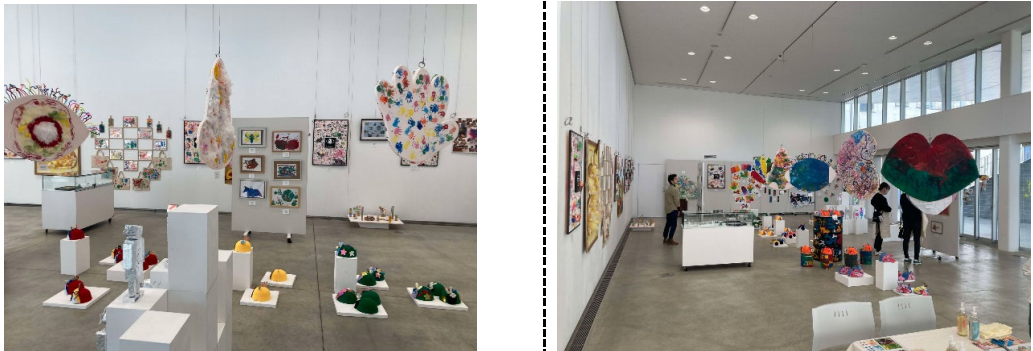
展覧会名	第9回児童生徒作品展	
展覧会概要	佐賀大学教育学部附属特別支援学校により、展示・鑑賞を通じて児童生徒の情操の学習に取り組むための展覧会が行われた。 特別支援学校で学ぶ児童生徒による図工・美術作品、作業製品などが展示された。	
《会期》	2024年12月21日（土）～12月22日（日）	
《日数》	2日間	
《会場》	ギャラリー 1、ギャラリー2	
《主催》	佐賀大学教育学部附属特別支援学校	
展示写真		

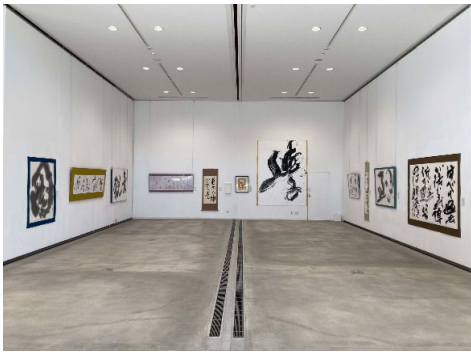
実習名	博物館実習
内容	佐賀大学芸術地域デザイン学部、石井美恵准教授の指導の下、環境測定や「日本の服飾の色」展に展示予定の作品のライティング、展示が行われた。
《機関》	2025年1月9日（木）
《日数》	1 日
《会場》	スタジオ
《参加》	25人
展示写真	

展覧会名	日本の服飾の色展	
展覧会概要	佐賀大学芸術地域デザイン学部「キュレーション応用Ⅱ」の授業を履修する学生による「日本の服飾の色」をテーマとしたグループ展が行われた。絵画、書物、着物などが展示された。	
《会期》	2025年1月11日（土）～1月13日（月）	
《日数》	3日間	
《会場》	スタジオ	
《主催》	キュレーション応用Ⅱ	
展示写真		

展覧会名	第65回佐賀県学童美術展	
展覧会概要	佐賀県内の園児および小・中学生が授業で制作した買いが、デザイン、線描〇〇点が展示された。小中学生の学校、各地区、最後に本部の審査で特選を受賞した作品が並んだ。	
《会期》	2025年1月9日（木）～1月13日（月）	
《日数》	5日間	
《会場》	ギャラリー1、ギャラリー2	
《主催》	佐賀県造形教育研究会	
展示写真		

展覧会名	第42回佐賀県染織作家協会展	
展覧会概要	佐賀県内で染織活動や作品発表をしている作家会員による展示が行われた。	
《会期》	2024年1月21日（火）～1月26日（日）	
《日数》	6日間	
《会場》	ギャラリー1、ギャラリー2	
《主催》	佐賀県染織作家協会	
展示写真		

展覧会名	小さな芸術家たちのアート展	
展覧会概要	「おへそこども学園」の子供たちによる展示が行われた。素材を通して、子供たちの目線で制作された様々な作品が展示された。	
《会期》	2025年1月24日（金）～1月25日（土）	
《日数》	2日間	
《会場》	スタジオ	
《主催》	おへそこども学園	
展示写真		

展覧会名	第49回佐賀県高等学校書道教師作品展併設県高校臨書店生徒優秀作品	
展覧会概要	佐賀県内の高等学校で書道の授業・部活動を担当している教師による諸作品の発表された。県内高校生による書道の臨書作品の優秀作品も合わせて展示された。	
《会期》	2025年1月29日（水）～2月2日（日）	
《日数》	5日間	
《会場》	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ	
《主催》	佐賀県高等学校教育研究会書道部会	
《共催》	佐賀県高等学校文化連盟書道専門部 佐賀県書道教育連盟	
展示写真	 	

展覧会名	2024年度 佐賀大学芸術地域デザイン学部卒業制作・大学院地域デザイン研究科修了制作作品展
展覧会概要	佐賀大学芸術地域デザイン学部、大学院地域デザイン研究科の学部生・大学院生による卒業・終了制作展が行われた。西洋画、日本画、視覚伝達デザイン、彫塑、有田セラミック、漆・木工、ミクストメディア、美術史・美術理論、地域コンテンツデザイン、フィールドデザイン、キュレーション分野を学ぶ学生たちが、学生生活の集大成となる作品が展示された。
《会期》	2025年2月8日（土）～2月16日（日）
《日数》	8日間
《会場》	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、小展示室、歴史展示スペース、中庭、プロムナード
《主催》	佐賀大学芸術地域デザイン学部、大学院地域デザイン研究科

展覧会名	佐賀大学学生書作展
展覧会概要	佐賀大学書道同好会による卒業書作展が行われた。佐賀県書作家協会展、佐賀県書道展、県展などに積極的に取り組んできた学生の集大成となる書作と、指導教官の賛助作品が展示された。
《会期》	2025年2月27日（木）～3月2日（日）
《日数》	4日間
《会場》	ギャラリー1、ギャラリー2
《主催》	佐賀大学書道同好会

展覧会名	○展
展覧会概要	芸術地域デザイン学部芸術表現コース西洋画専攻生による絵画を中心とした作品展示
《会期》	2025年3月5日（水）～3月13日（木）
《日数》	6日間
《会場》	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
《主催》	佐賀大学芸術地域デザイン学部芸術地域デザイン学科芸術表現コース西洋画専攻

展覧会名	こどもがつくるこどものまち「ミニさが」
展覧会概要	佐賀大学教育学部の学生による企画展 子どもが主役となって、まちを創り運営する「あそびのまち」の実践 まちには、市役所、銀行、職業紹介所、お店などがあり、参加する子どもは仕事をして給料を稼ぎ、自分で稼いだお金を自由に使って過ごす (大規模なごっこ遊びの場をつくる)
《会期》	2025年3月20日（木）
《日数》	1 日
《会場》	ギャラリー 1、ギャラリー 2、スタジオ、小展示室、プロムナード
《主催》	こどものまち「ミニさが」実行委員会

展覧会名	第1回現代美術家協会新九州支部展
展覧会概要	現代美術家協会九州支部の会員・準会員・会友の作品と、他地区会員の賛助出品作を中心に展示
《会期》	2025年3月22日（土）～3月29日（土）
《日数》	7日間
《会場》	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
《主催》	現代美術家協会九州支部

3 博物館実習・職業体験

実習名	中学校職場体験学習
内容	佐賀大学教育学部附属中学校では、学校教育の一環として職場体験学習が行われており、美術館でも2年生2名を受け入れた。受付や監視業務のほか、資料の整理・調査などの体験を行った。
期間	2024年10月3日（木）～10月4日（金）8:45～15:45
参加者	2人

4 刊行物

〔刊行物〕

『佐賀大学美術館開館 10 周年記念事業記録集』

〔概要〕 テキスト：ごあいさつ/美術館紹介/
企画者メッセージ/スケジュール/
展示セッション/トークセッション/
広報物/メディア掲載

〔仕様〕 B5 版 142 ページ フルカラー

〔発行部数〕 800 部

〔発行日〕 2024 年 6 月 14 日

『佐賀大学美術館令和 4 年度年報』

〔概要〕 テキスト：館概要/沿革/組織図/2022 年度の活動

〔仕様〕 AB 版 36 ページ 表紙：フルカラー 本文：モノクロ

〔発行部数〕 400 部

〔発行日〕 2024 年 10 月 31 日

[掲載紙・テレビ]令和6年度

展覧会名	記事名、番組名	日付・放送日	新聞社・テレビ局・ラジオ局
SAGA U × SRU～A curation of Slippery Rock University's artists (2 faculty members and a student) 佐賀大学とスリッパリーロック大学の学生チームによる2件の展示の同時開催～	米大学の学生 佐大で企画展 あすまでアクリル画、立体作品など	5月16日	佐賀新聞
SAGA U × SRU～A curation of Slippery Rock University's artists (2 faculty members and a student) 佐賀大学とスリッパリーロック大学の学生チームによる2件の展示の同時開催～	佐賀大生×米大生ら作品展	5月16日	読売新聞
シルエットの光と影～切り絵アート展示～	手作業で繊細な切り絵アート	6月9日	佐賀新聞
SUAM/ROOT Vol1 瀬戸口朗子－幕間－	ニュースただいま佐賀、ニュース等	6月18日	NHK
ツカミ博覧会	佐大生ら“ツカミ”展覧会で興味引きつけ映像やお笑い表現えり抜き	6月28日	佐賀新聞
SUAM/ROOT Vol1 瀬戸口朗子－幕間－	相反する感情 作品に投影	7月9日	佐賀新聞
SUAM/ROOT Vol1 瀬戸口朗子－幕間－	瀬戸口朗子さん個展 アンビバレント表現20年の奇跡佐賀市の佐賀大学美術館で9月8日まで	7月11日	佐賀新聞
SUAM/ROOT Vol1 瀬戸口朗子－幕間－	記事「瀬戸口朗子－幕間－」	8月23日	西日本新聞
SUAM/ROOT Vol1 瀬戸口朗子－幕間－	美術鑑賞アプリ、運用開始佐賀大美術館	8月31日	佐賀新聞
SUAM/ROOT Vol1 瀬戸口朗子－幕間－	カルチャー 「瀬戸口朗子－幕間－」	9月1日	西日本新聞
SUAM/ROOT Vol2 黒木由美－りー	ゆかりの芸術家にフォーカス 佐賀大美術館 陶芸作家・黒木さんの作品	11月28日	読売新聞
SUAM/ROOT Vol2 黒木由美－りー	企画展「SUAM/ROOT Vol2 黒木由美－りー」	11月29日	西日本新聞
近藤恵介 絵画の練習	日本画を軽やかに再構築	12月3日	佐賀新聞
SUAM/ROOT Vol2 黒木由美－りー	有機的な形、釉薬で追求	12月10日	佐賀新聞
SUAM/ROOT Vol3 黒木由美－りー	美術館・博物館	12月12日	読売新聞
あらわすいとなみVol.1 kioku手芸館たんす	あらわすいとなみVol.1 kioku手芸館たんす	12月13日	西日本新聞
第42回佐賀県染織作家協会展	会派超え染の技競演	1月21日	佐賀新聞
SUAM/ROOT Vol3 黒木由美－りー	カルチャー 黒木由美－りー	1月26日	西日本新聞
あらわすいとなみVol.1 kioku手芸館たんす	芸術ウェブ 美術家と住民繋いで創作	2月2日	長崎新聞
2024年度 佐賀大学芸術地域デザイン学部卒業制作・大学院地域デザイン研究科修了制作作品展	佐賀大学の「卒業修了制作展」自由な発想と若い感性にじむ 佐賀大学美術館で2月16日まで	2月11日	佐賀新聞
小さな芸術家たちのアート展	子どもたちのアート展 小さな芸術家たち、伸び伸びと表現 「いやし」テーマ、佐賀大学美術館彩る	2月18日	佐賀新聞
SUAM Screening + Far Away Hopeful Grand Land はるかなる大地へ 萩原留美子	現代美術家・萩原さん1日、佐賀大でトーク	2月25日	佐賀新聞

[見学団体一覧]令和6年度

社：社会人 シ：シニア 学：大学・短大・専門学校生 高：高校生 中：中学生 小：小学生 未：未就学児

団体名	日付	時間	人数	引率	合計	備考	
令和5年度佐賀大学新採用職員研修	4月17日	10:15	社	15	3	18	視察
スリッパリーロック大学（アメリカ）	5月10日	15:54	学	21	1	22	
福岡県公立古賀寛成館 高等学校 2年生	5月14日	13:59	高	19	1	20	大学訪問（アドミッションセンター）
佐賀大学附属特別支援学校高等部	6月4日	14:07	高	7	3	10	
佐賀大学とびらプロジェクト アートへのとびら	6月9日	10:40	高	22	3	25	石井先生/藤井先生
福岡県立三潁高等学校（PTA）	6月25日	15:22	社	19	3	22	大学訪問（アドミッションセンター）
佐賀大学 intensive English 1 受講生	6月26日	11:32	学	37	1	38	
国際交流推進センター（佐賀学園）	7月4日	15:07	高	5	2	7	山田さん
福岡舞鶴誠和学園 福岡舞鶴高等学校	7月11日	12:00	高	87	2	89	大学訪問（アドミッションセンター）
学校法人佐賀龍谷学園 龍谷高等学校	7月25日	10:55	高	25	1	26	
佐賀大学経済学部	7月25日	11:44	社	5	1	6	山本教授
九州産業大学付属九州高等学校	8月1日	13:00	高	77	4	81	入試課
YUMETANEプロジェクト	8月22日	11:20	中	75	5	80	保護者含む
福岡県立福島高等学校 2年生	9月6日	10:45	高	76	4	80	大学訪問（アドミッションセンター）
平松清風大学	10月8日	10:00	社	6	1	7	
福岡県立三池高等学校（PTA）	10月8日	10:00	社	13	1	14	大学訪問（アドミッションセンター）
サムヲランギ大学	10月10日	16:00	学	4	7	11	
温州大学（中国）	10月24日	16:30	社	8	1	9	
熊本県立御船高等学校	10月29日	12:40	高	20	3	23	大学訪問（アドミッションセンター）
佐賀県立武雄青陵高等学校	11月28日	11:50	中	60	3	63	大学訪問（アドミッションセンター）
学校法人常盤学園 常盤高等学校	12月3日	12:30	高	20	1	21	大学訪問（アドミッションセンター）
学校法人常盤学園 常盤高等学校	12月3日	16:30	高	16	1	17	大学訪問（アドミッションセンター）
熊本県立熊本西高等学校	12月6日	10:40	高	69	3	72	大学訪問（アドミッションセンター）
東京都市大学/リクルート	12月10日	12:10	社	7	0	7	DX推進室
学校法人佐賀龍谷学園 龍谷中学校	1月9日	14:00	中	56	4	60	
佐賀女子短期大学付属ふたばこども園（年長）	1月10日	10:45	未	30	2	32	
佐賀大学教育学部	1月31日	10:00	学	22	1	23	藤木先生
佐賀県立佐賀西高校	1月31日	10:40	高	15	1	16	佐賀西松尾先生
佐賀県立佐賀西高校	1月31日	14:15	高	24	1	25	佐賀西松尾先生
文科省大臣官房人事	1月31日	11:50	社	3	3	6	
宗像地区集落営農組織連絡協議会	2月1日	14:40	社	13	0	13	
白石町立六角小学校	2月21日	13:00	小	30	4	34	理工学部西山先生
ゆめさが歩く会	3月1日	11:15	シ	25	0	25	
			社会人	89	13		102
			シ	25	0		25
			学生	84	10		94
			高校	482	30		512
			中学	191	13		204
			小学	30	4		34
			未就園	30	2		32
			総合計	931	72		1003

[掲載誌]令和6年度

展覧会名・所蔵品名	掲載	雑誌名	掲載号	発行月日	発行元
佐賀大学美術館	535-537	新訂 大学博物館辞典—市民に開かれた知とアートのミュージアム		2024/12/25	日外アソシエーツ株式会社
あらわすいとなみ Vol.1kioku手芸館「たんす」	106	『季刊 うかたま』	2025vol.1.77	2025/1/1	一般社団法人農山漁村文化協会
写真 小舘善四郎と久富邦夫	60	『太宰治が生きたまち 三鷹』		2025/3/1	公共財団法人三鷹市スポーツと文化財団 芸術文化課 文芸担当
写真 久富邦夫 太宰治の戯画と	60	『太宰治が生きたまち 三鷹』		2025/3/1	公共財団法人三鷹市スポーツと文化財団 芸術文化課 文芸担当
久富邦夫「游心録③」	60	『太宰治が生きたまち 三鷹』		2025/3/1	公共財団法人三鷹市スポーツと文化財団 芸術文化課 文芸担当
久富邦夫「游心録二」	60	『太宰治が生きたまち 三鷹』		2025/3/1	公共財団法人三鷹市スポーツと文化財団 芸術文化課 文芸担当
太宰治 《久富君像》	61	『太宰治が生きたまち 三鷹』		2025/3/1	公共財団法人三鷹市スポーツと文化財団 芸術文化課 文芸担当

6 職員の館外会議・研修

名称	日時	会場	主催	出席
令和6年度濠端9館会議	令和6年5月21日（月）	佐賀城本丸歴史館 会議室	濠端9館会議	学芸員 五十嵐 純 係長 黒木 幸代
令和6年度佐賀県博物館協会総会	令和6年5月30日（木）	佐賀県立美術館2階 画廊	佐賀県博物館協会	学芸員 五十嵐 純 係長 黒木 幸代
佐賀県芸術文化協会評議員会	令和6年6月25日（火）	佐賀県庁新館7階 西会議室	公益財団法人佐賀県芸術文化協会	副学長 波 孝則

5 寄附

[美術館設置募金の経緯]

- 2011 年 6 月 美術館設置募金WG 設置
- 2012 年 4 月 美術館設置事業募金開始
- 2013 年 6 月 寄附者芳名帳を公開
- 美術館規則の制定に伴い、美術館設置募金WG を解散
- 9 月 美術館に高額寄附者銘板を設置
- 10 月 美術館開館後も美術館設置事業募金を継続
- 2025 年 3 月 募金総額 238, 154, 879 円 (2025 年 3 月 31 日現在)



日付	寄付額	合計額
～平成24年3月	3,000,000	3,000,000
平成24年度	13,824,840	96,380,665
平成25年度	825,000	212,233,276
平成26年度	635,000	226,040,276
平成27年度	3,304,000	229,344,276
平成28年度	1,874,387	231,218,663
平成29年度	1,296,431	232,515,094
平成30年度	825,573	233,340,667
令和元年度	862,593	234,203,260
令和2年度	475,532	234,678,792
令和3年度	537,307	235,216,099
令和4年度	498,047	235,714,146
令和5年度	1,817,234	237,531,380
令和6年度	623,499	238,154,879
目 標		600,000,000

7 入館者数一覧

※数値に重複あり（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

	展覧会	入場者数	会期	日数	主催	展示会場
【主催展】						
1	SUAM/ROOT Vol.1 瀬戸口 朗子 -幕間-	12,183	2024/6/18-2024/9/8	69	佐賀大学美術館	特別展示室
2	SUAM/ROOT Vol.2 黒木由美 -s-	9,499	2024/11/26-2025/3/9	72	佐賀大学美術館	特別展示室
3	あらわすいとなみ Vol.1 kioku手芸館「たんす」	6,036	2024/11/29-2025/2/2	43	佐賀大学美術館	小展示室・歴史展示スペース
4	「SUAM Screening+ Rumiko Hagiwara Far Away Hopeful Grand Land／萩原留美子「はるかなる大地へ」(2025.03.31までの入館者数及び開館日数)	2,941	2025/2/28-2025/5/11	21	佐賀大学美術館	小展示室・歴史展示スペース
5	佐賀大学美術館収蔵品展Collection Exhibition第1期(2025.03.31までの入館者数及び開館日数)	1,799	2025/3/18-2025/9/12	12	佐賀大学美術館	特別展示室
【申請企画展】						
1	アカベラサークルScore!!勧誘ライブ	90	2024/4/10	1	アカベラサークルScore!!	ブロムナード
2	SAGA U×SRU	510	2024/5/10-2024/5/17	7	Slippery Rock University of Pennsylvania	小展示室、歴史展示スペース
3	『シルエットの光と影』～切り絵アート展示～	1,019	2024/6/1-2024/6/9	8	切り絵アート倶楽部	ギャラリー1
4	ツカミ博覧会	746	2024/6/25-2024/6/30	6	佐賀大学芸術地域デザイン学部映像デザインゼミ	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、ブロムナード
5	共通基礎成果発表展	2,061	2024/7/30-2024/8/8	9	佐賀大学芸術地域デザイン学部芸術地域デザイン学科芸術表現コース西洋画専攻	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、小展示室、ブロムナード、中庭、歴史展示室
6	第4 7 回二紀佐賀支部展	831	2024/8/18-2024/8/24	6	一般社団法人二紀会佐賀支部	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
7	第五十二回「大空」七夕書道展	679	2024/8/27-2024/8/31	5	一般社団法人佐賀県書道教育連盟	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
8	第7 8 回日本体力医学会学会学術大会	6,323	2024/9/2-2024/9/4	3	第78回日本体力医学会事務局	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、小展示室、中庭、ブロムナード
9	令和6年度空気調和・衛生工学会大会技術展示会	2,073	2024/9/11-2024/9/13	3	公益社団法人 空気調和・衛生工学会	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
10	「羽化」展	272	2024/9/18-2024/9/22	5	芸術地域デザイン学部グループ展「羽化」	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
11	ONE有明アートフェスティバル「ACTIVATE ART+KOGEI HAGAKURE（葉隠）自由と情熱」展	2,472	2024/9/28-2024/11/3	32	ONE有明アートフェスティバル実行委員会 後援：佐賀大学美術館	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、小展示室、中庭、ブロムナード、歴史展示スペース、特別展示室
12	環友会作品展	936	2024/11/12-2024/11/17	6	環友会	小展示室、歴史展示スペース、特別展示室
13	令和6年度JA共済小・中学校第60回書道・第50回交通安全ポスターコンクール入賞作品展示会	1,143	2024/11/14-2024/11/21	7	農業協同組合、全国共済農業協同組合連合会	ギャラリー1、ギャラリー2
14	近藤恵介 絵画の練習	1,273	2024/11/29-2024/12/15	15	芸術地域デザイン学部 近藤恵介	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
15	第9回児童生徒作品展	124	2024/12/21-2024/12/22	2	佐賀大学教育学部附属特別支援学校	ギャラリー1
16	第65回学童美術展	1,944	2025/1/9-2025/1/13	5	佐賀県造形教育研究会	ギャラリー1、ギャラリー2
17	第42回佐賀県染織作家協会展	858	2025/1/21-2025/1/26	6	佐賀県染織作家協会	ギャラリー1、ギャラリー2
18	小さな芸術家たちのアート展	285	2025/1/24-2025/1/25	2	おへそこども学園	スタジオ
19	第49回佐賀県高等学校書道教師作品展 併設 県高校臨書展生徒優秀作品	864	2025/1/29-2025/2/2	5	佐賀県高等学校教育研究会書道部会 佐賀県高等学校文化連盟書道専門部	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
20	2024年度 佐賀大学芸術地域デザイン学部 卒業制作・修了制作 作品展	1,972	2025/2/8-2025/2/16	8	佐賀大学芸術地域デザイン学部	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、小展示室、中庭、ブロムナード、歴史展示スペース
21	佐賀大学学生書作展	493	2025/2/27-2025/3/2	4	佐賀大学書道同好会	ギャラリー1、ギャラリー2
22	〇展	559	2025/3/5-2025/3/13	6	佐賀大学芸術地域デザイン学部芸術地域デザイン学科芸術表現コース西洋画専攻	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
23	こどもがつくるこどものまち「ミニさが」	531	2025/3/20	1	こどものまち「ミニさが」実行委員会	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、中庭、ブロムナード、小展示室
24	第1回現代美術家協会 新九州支部展	846	2025/3/22-2025/3/29	7	現代美術家協会九州支部 後援：佐賀大学美術館	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
	延べ来館者数	61,362				

年度別入場者実績

※数値に重複なし

	総入館者数	うち有料入館者数	開館日数
平成25年度	27,167	0	125
平成26年度	40,780	2,652	254
平成27年度	37,965	0	281
平成28年度	38,474	0	291
平成29年度	34,718	0	285
平成30年度	31,883	0	273
平成31年度	30,698	0	280
令和2年度	13,929	0	140
令和3年度	17,459	0	271
令和4年度	15,295	0	234
令和5年度	22,135	0	271
令和6年度	31,597	0	227
開館からの累計	342,100		

Ⅱ 自己点検・評価

令和6年度までの美術館運営の特徴について

当美術館は平成25年度10月に新制佐賀大学(旧佐賀大学と佐賀医科大学統合による)10周年を記念して開館した。国内で初の国立総合大学に附属する美術館であり、様々な展示事業を通じて大学の情報や教育・研究の成果を発信するとともに、地域のコミュニティセンターとして市民の方からも気軽に大学に足を運んでもらうきっかけとなることを目指している。

この目的のために大学内の施設ながら常時一般公開し、また、市民団体にも活動の場を提供しながら年間を通して開館している。令和6年度は開館から11年目となり総来館者数は約34万人を超えた。来館者の層は学生や教職員など大学関係者にとどまらず、市民の一般観覧、近隣小中高校からの団体見学など幅広い。本館は「開かれた大学」を象徴する施設としての存在意義を示すと同時に、芸術活動が日常にとけ込んでいる佐賀の文化風土に由来する当館の大きな特長である。

このような市民を含めた利用や、「特美」に由来する美術・工芸教育の伝統と質、芸術と他領域を結びつける総合大学ならではの学際的な試み、佐賀の文化・芸術の紹介等を、卒業生を含む周囲の関係者との緊密な協力関係のもとに実施できることは当館の強みとなっている。

なお、令和6年度は新型コロナウイルスによる影響もほとんどなく、来館者数が3万人を超えた。令和6年2月に常勤の学芸員を迎え、主催展の企画も行えるようになり、運営上の問題も少しずつ解決に向かっている。

1. 令和6年度の活動の概略

令和5年度に佐賀大学美術館は開館10周年を迎え、次の10年に向けた新たな事業を開始した。過去10年間は収蔵品を中心とした主催展を開催していたため、若い学生に求心力のある企画として、若手アーティストの個展や2000年以降全国的に隆盛しているアートプロジェクトを紹介するような展覧会を実施した。同時に、約110点あまりの収蔵品の点検・情報整理を行った。情報発信においては、SNSの発信を見直すとともに、ホームページの改修を行い、わかりやすい情報発信と親しみの持てるウェブサイトに変更を行った。また、美術館運営の報告として、ニュースレターの発行(年二回を予定)を開始した。

令和6年度の来館者数は、31,597人(令和7年3月末時点)となり、新型コロナウイルス感染拡大以前の来館者数に近いものになってきている。

企画申請事業を主催する学内外の団体に対しての使用料は、令和6年度は18件、1,851千円となった。昨年度と比して収入額は1,627千円の増収、光熱水料相当額の振替額は338千円であった。その結果、収入総額は2,189千円となり前年度の285千円から1,904千円の増収となっており、企画申請事業に伴う収入面では新型コロナウイルスの影響もほとんどなく、学内外ともに活動が活発になったことが伺える。

(1) 美術館主催事業

令和6年度は、次なる10年に向け、より美術館のミッションを実現すべく、3つの新しい企画を開催し、計4展示を主催した。

- ① 佐賀県や九州地域にゆかりのある若手・中堅作家の活動支援を目的とした小個展「SUAM/ROOT」を開始した。第一回目は、2002年に文化教育学部美術・工芸課程

西洋画専攻を卒業し、現在は福岡県で教職に就く瀬戸口朗子を紹介し、第二回目は、2019年に大学院地域デザイン研究科修士課程を修了した黒木由美を紹介した。両名ともに、本学の卒業生であり、精力的に活動を行うアーティストとして、在学生やこれから本学で学ぼうとする学生たちの一つのロールモデルともなりえると考え、「教育・研究の成果発信」という点においても重要な役割を果たしたと考える。

- ②「地域のコミュニティセンター」を考えるうえで、国内のすぐれた事例を紹介する試みとして地域に根差した表現活動を行う団体を紹介する「あらわすいとなみ」では、大阪市西成区で地域住民らと活動を行う「kioku 手芸館たんす」を紹介した。
- ③当館二階の小展示室・シアタールームの設備を生かした企画として映像作品を主軸に紹介する「SUAM Screening+」を開催し、現在オランダを拠点に長く活動をする萩原留美子を招聘し、個展を開催した。
- ④展覧会のほかに、通年かけて行うプロジェクトとして佐賀県の食と文化をテーマにした「佐賀食堂（仮称）」、農業や医療の分野を想定したガーデニングプロジェクト「治療する庭（仮称）」の準備を開始した。

（2）後援事業

本学美術館の後援事業として、「ONE 有明アートフェスティバル「ACTIVATE ART+KOGEI HAGAKURE（葉隠）自由と情熱」展」及び「第1回現代美術家協会 新九州支部展」に協力を行った。

（3）企画申請事業

- ① 令和6年度における学部及び大学院の学生による作品の展示としては、スリッパリーロック大学へ留学経験のある学生が中心となり「SAGA U×SRU」を開催、芸術地域デザイン学部主催による「芸術地域デザイン学部共通基礎成果発表展」、同学部映像デザインゼミによる「ツカミ博覧会」、グループ展「羽化」による「羽化展」、西洋画専攻による「〇展」、教育学部学生による「こどもがつくるこどものまち「ミニさが」」の他、同学部及び地域デザイン研究科による「佐賀大学芸術地域デザイン学部・大学院地域デザイン研究科デザインコース 卒業・修了制作展」などが開催された。また、教員の研究発表の場として、芸術地域デザイン学部教員による「絵画の練習」、「第78回日本体力医学会学術大会」、「令和6年度空気調和・衛生工学会大会技術展示会」が開催された。
- ② 学外者の事業として、切り絵アート倶楽部による「『シルエットの光と影』～切り絵アート展示～」、二紀佐賀支部による「第47回 二紀佐賀支部展」、佐賀県造形教育研究会による「第65回佐賀県学童美術展」、璞友会による「璞友会作品展」、佐賀県高等学校教育研究会書道部門による「佐賀県高校書道教師作品展」などの他、後援事業も含め18件の利用があり、地域の文化活動の発表の場所としての役割を担うことができた。

（4）刊行物の発行

佐賀大学美術館開館10周年記念事業 記録集を発刊した。
SUAM/ROOT Vol.1 および2、あらわすいとなみの記録集を発行した。

（5）掲載紙・テレビ取材等

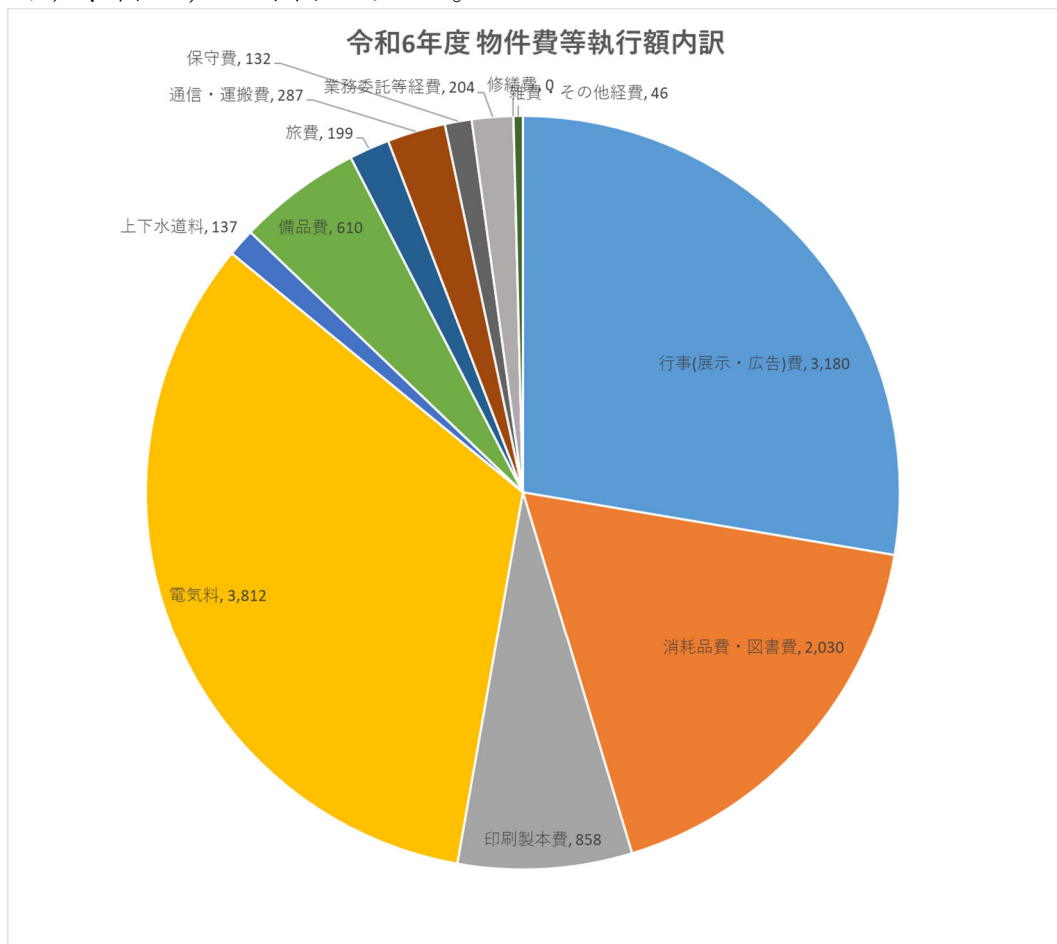
当館で開催される事業の広報については、開館当初から改修を行っていなかったホームページをリニューアルした。10周年を機に作成したFacebook（新）、Instagram、XなどSNSを利用した広報活動も引き続き行った。令和6年度にメデ

シアでの掲載・放映は、NHKをはじめとして新聞等 22 件が取り上げられた。

また見学団体・視察等は、県内高等学校を中心にのべ 33 団体、1,003 人の来館者を迎えた。

(6) 運営費の執行状況 [データ:令和 7 年 3 月 31 日現在]

令和 6 年度に美術館運営のために執行した経費の額は、非常勤職員（学生等アルバイト等を含む。）人件費等 8,600 千円、物件費等 10,702 千円（内訳は以下のとおり）、計 19,302 千円であった。



2. 今後の課題等

約 110 点ある収蔵品がすべて男性作家であることが調査の結果判明した。多くの女子学生を輩出し、教育の成果を出している本学において女性作家の収蔵作品がなく、昨今のジェンダーイクオリティの観点および、本校と地域の歴史を次世代に継承していく観点からも、女性作家の収蔵を進めていく必要がある。

日本国内においては、大学美術館は多いとは言えず、注目度が低いが見れば教育の最先端の場として、注目や意義が強く認められている。大学美術館の意義を発信していくためにも、教育成果の発表と独自性のある企画の両軸を強く発信していく必要がある。そして、「地域のコミュニティセンター」の役割を強化するうえでは、より多くの支援者の獲得として、地元企業等の支援を求めていく必要があると考える。

(1) 美術館の運営費等

開館以来、美術館の運営費の継続的な確保は最大の課題となっている。入場料を

無料としていることから入場料収入を得ることができないため、法人からの予算措置により運用している状況である。事業費、光熱水料、修繕費など今後増えていく可能性があり、補填を寄附金に頼らざるを得ないことも課題である。令和5年度は10周年企画の案内に合わせ寄附募集を行ったこともあり、180万円を超える寄附があったが、令和6年度は60万円強の寄付額となっている。年2回「NEWS LETTER」を発行し、寄附の案内も行っている。今後も寄附増加に向けて、活動を行っていくが大幅な改善は見込めない状況である。

このような状況の下、安定した運営費の確保に資するため、平成26年度以降、施設使用者に対して光熱水費の実費を、さらに平成27年度からは学外者については展示室使用料を徴収している。令和6年度におけるこれらの収入は2,189千円であるが、前年度（285千円）と比して大幅な増収となった(表1)。施設の貸出は主催展で使用しない場所のみ貸し出しているため、今後、主催展が増えれば、使用料は減っていくため、利用率を高めるよう調整したい。

ただ、通年を通しての土日開館を含めた、外部への会場貸し出し業務を行ううえで、美術館職員数が4名、うち常勤職員2名の運営体制では、緊急時の対応などができる恐れが高いなど他面での問題も残っている。

また、外部資金の獲得に向け、各所へ申請を行っており、令和6年度は金子財団から助成金を獲得することができた。他にも申請は行っているが、なかなか採択には至らない状況である。今後も外部資金獲得に向け、申請を行っていききたい(表2)。

(表1) 美術館貸付料収入等の推移(平成26年度～令和6年度)

単位: 円

	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31・令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
貸付料等収入			13	349,252	10	401,800	9	564,000	12	634,000	7	799,000	3	357,000	6	462,500	7	408,000	3	224,000	18	1,851,000
学内予算振替	8	515,601	8	137,385	10	256,999	10	172,119	13	206,171	8	137,963	7	85,312	8	136,737	5	64,892	5	61,016	5	338,000
計	8	515,601	21	486,637	20	658,799	19	736,119	25	840,171	15	936,963	10	442,312	14	599,237	12	472,892	8	285,016	23	2,189,000
前年度差引増減(△)額		-		△28,964		172,162		77,320		104,052		96,792		△494,651		156,925		△122,345		△187,876		1,903,984

(表2) 助成金収入等の推移(平成28年度～令和6年度)

単位: 円

(表2) 助成金収入等の推移 (平成28年度～令和6年度)																	単位：円	
	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31・令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
芸術文化振興基金助成金	1	1,353,000	1	1,130,000	1	858,000	1	720,000	1	1,014,000	-	-	-	-	-	-	-	-
鍋島報効会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	134,600	-	-
金子財団	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	825,000

(2) 学芸員の処遇改善と安定的確保

学芸員については、令和3年度中はほぼ不在であったが、令和4年度は2名(うちフルタイム非常勤1名、パートタイム非常勤1名)を採用していたが、令和5年度(2月から)には常勤1名(契約コーディネーター・学芸員)を採用した。フルタイム非常勤1名と2名体制となり、事務職員2名(常勤職員1名と非常勤事務職員1名)合わせて4人体制となった。

(3) 主催展の開催

令和6年度は、小規模ながら通年を通して新しい企画を行うことで、周辺の美術館関係者や教育関係者から、「佐賀大学美術館の活動が活発になってきたように感じる」との声を多くいただいたこともあり、成果を見出すことができた。一方で、小規

模な公立美術館と比較しても運営費には大きな開きがあり、来場者にとって満足感の高い展覧会を行おうとする場合、参加作家への謝礼が十分に支払えないことや、外部委託分を補うため、職員が追加で業務を行わざるを得ないなど、工夫では改善しがたい負担が増大している現状がある。

（４）老朽化に伴う施設管理

令和５年１０月をもって１０周年を迎えた佐賀大学美術館ではすでに老朽化に伴う施設の管理上の問題も顕在化しつつある。令和６年度は、２階特別展示室の扉の開閉ができなくなるなど、本館で一番重要な展示室がセキュリティ等が問題となる状況になっている。また、これまでも経年劣化による不具合が移動壁や空調機などに影響が出ており、現在もメンテナンスや修理が必要となっているが、資金面など問題も多く、まだ対応できていない。

今後も、事件、事故の防止、発生後の対応や予算措置等、施設課などの担当部署とも十分な検討をしていく必要がある。